

2004年 6月27日 主日礼拝

司 会	村上洋兄	荒瀬兄	中村勝兄
奏 楽			
祈 禱	石橋兄	高木美兄	川田兄
賛 美	讃美歌494 (大いなる方に感謝) (主の栄光宮に)		
使徒信条			
聖 書	出エジプト記20章1～3節(十戒) 使徒行伝8章12～17節		
音 楽	NEW 威光組	宮川由起子姉	
メッセージ	『Jesus in the Box』 柴田順一副牧師 『不在のミニストリー』 大川従道牧師		
賛 美	明日はどんな日か(献金)		
主の祈り			
祝 禱			

「そこで、ふたりが手を彼らの上においたところ、  
彼らは聖霊を受けた。」(使徒行伝八の十七)



キリスト新聞に、ケセン語訳新約聖書の四福音書を翻訳された山浦玄嗣氏の対話がのっていて興味深い。(カルバリーチャペルで、ケセン語訳を理解できるのは、武井先生の奥様ぐらいでしょう。難解な東北地方語?)。

山浦氏はお医者であるが、コツコツと何年もかけてこの大事業をなされた。

「パッション」の映画の医学的解説がなされていた。

イエスの側胸部を槍で突くと、水と血が流れてきたとありますが、革紐の先に鉄の垂鈴がついていて、それが数本あって全身を殴る。それだけでも人は死にます。イエスは、死ぬ寸前まで、殴られたと思いますよ。すると「外傷性肋膜炎」を起こし、肋膜に水が溜まります。熱も出る。

昔、撃剣の稽古をやって、胸に突きを入れられたりすると、よく肋膜炎になった、あれですよ。さらに手首を釘で打ちつけられて吊るされた。最後は窒息死。急性心不全による窒息死といえる。肺そのものも水浸しになって、呼吸ができなくなる。胸の中には、大量の水が溜まっていたと思われます。ですから、あそこに槍を刺せば、先ず透明な水がドーッと流れてきます。心臓を突き破れば、今度は、心臓に溜まっていた血液がだらだらと。

同じ東北人の三浦所太郎氏も聖書を翻訳されている。ヨハネ15の1「私はまことのぶどうの木、私の父は農夫である」を、「俺の親父は、百姓である」と訳した。すごい何か伝わってくる。

「百姓」とは、百の姓と書く。農業をやる人は、何でも分かっていないと、うまくやっていけない。私たちの天のオヤジさんは、何でもご存知のおかたである。教会の牧師も似ている。時代を読み、信仰の種をまき、忍耐をもって養い育てる。「私は植え、アポロは水を注いだ。しかし成長させて下さるのは、神である。」(第1コリント3の6) アーメン。

【大和ニュース】

- ・ 本日9時から「洗礼準備会」が行われます。ハレルヤ!
- ・ 本日、手話、青年、ゴスペル、アブラハム、モーセ、学生ワークショップ、役員会等あり。
- ・ 東京教会は燃えています。お祈り下さい。「愛する者病めり」
- ・ 今年も半年守られたことを感謝し、「上半期感謝献金」を献げましょう。
- ・ 今週の祈禱会(水曜夜7時半と木曜朝10時半)にて、転入会式がなされます。
- ・ 武井聖書教室は、火曜朝10時半～12時。シャローム館にて。(無料)
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時から。説教は小西補教師。
- ・ 明晩7時より「VIP 西麻布」です。お祈り下さい。
- ・ 英語礼拝は、土曜夜7時50分から。説教:岡村先生(祈:鈴木克兄・賛:石井師)
- ・ 今週の東京は、川端師、大川師、大川師、小崎師、大川師、倉知師。お祈り下さい。
- ・ 夏は軽井沢で恵みの爆発!「全国・愛修会」8月25日～27日(支教会も合流)。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:使徒行伝8章～11章 Bコース:ヨブ記10章～28章